



簡易ガイド・エージェント・個人データの黒塗り

ファイルの黒塗りを、マーカーペンで している？ Redact Agentが印を付け、判断はあなた がする。

ファイルを外部に出す前に、第三者の氏名、住所、識別番号を消さなければなりません。この簡易ガイドでは、Redact AgentがPDFとスキャンの個人データに印を付ける方法、プレビューを確認して整理済みのコピーを作成する方法を説明します。行政機関、法務部門、データ保護の担当者の方向けです。

要点

13のシナリオと、選択可能な16のデータカテゴリ、ホワイトリストとお客様独自の用語、各エリアの理由を示すプレビュー。黒塗りされたテキストはコピーから削除され、原本は変更されません。

01・課題の内容

ファイルは外に出さなければならない。 第三者の名前は出してはいけない。

ファイル、専門家の意見書、やり取りの文書には、今回の件とは無関係な人の氏名、住所、電話番号、銀行情報が含まれています。公開の前に、ページは印刷され、ペンで塗りつぶされ、再びスキャンされます。時間がかかり、見落としした箇所は取り戻せません。

なぜ起こるのか

黒い四角は黒塗りではない

PDFエディターの黒い四角は、多くの場合テキストの上に乗っているだけです。その下のテキストはコピーでき、メタデータや添付ファイルは気づかれないまま外に出てしまいます。

スキャンはまず画像である

スキャンされたページにはテキストではなく画素が含まれています。テキスト検索では名前が見つからないため、すべてのページを手で読まなければなりません。

場面ごとに規則が異なる

本人開示請求では請求者は見えのままにし、公表では、すべての氏名を消します。毎回ゼロから判断すると、黒塗りがばらばらになります。

気づくポイント

- ファイルを印刷し、ペンで塗りつぶし、再びスキャンしている。
- 黒い四角の下にテキストが残っていないか、確信を持って言える人がいない。
- 請求、裁判、公表のそれぞれが、文書化されていない独自の規則に従っている。
- 黒塗りされたコピーが、原本の隣に明確な表示なしで置かれている。
- 大きなファイルでは、すべてのページを手で処理するため、黒塗りに何日もかかる。

02・PAPEROFFICEでの進め方

印を付けさせ、確認し、 コピーを公開する。

Redact Agentは、スキャンを含むPDFを読み取り、選んだシナリオのデータカテゴリに印を付けます。プレビューでは、すべてのエリアについて判断します。そのあと、整理済みのコピーが新しい書類として作成されます。

1 場面に合ったシナリオを選ぶ

13のシナリオが規則を設定します。たとえば、本人開示請求、外部への共有、訴訟手続き、診療記録などです。または、カテゴリを自分で選ぶこともできます。

2 読み取って印を付ける

テキスト認識はスキャンも読み取ります。AIは、氏名や住所から銀行情報、識別番号、健康データまで、選んだカテゴリの該当箇所に印を付けます。

モジュール: AI-OCR

3 プレビューで判断する

黒塗りするエリアや、公開するエリアをクリックし、抜けている箇所は四角をドラッグして囲みます。ポインターを重ねると、カテゴリと理由が表示されます。ホワイトリストとお客様独自の用語は、すべてのページに適用されます。

4 テキストを本当に削除する

四角の下テキストはPDFから削除され、そのあと再度確認されます。下に何か残っていれば、コピーは黒塗り済みのページ画像から作り直されます。メタデータと添付ファイルは消去されます。

5 コピーを保存して送る

コピーには接尾辞 `_redacted` が付き、選んだWorkspaceに保存されます。原本は変更されません。メールで送信 は、そのコピーを使って安全な配信を開きます。

モジュール: 安全なメール配信

03・アプリでの操作

印の付いた書類から 整理済みのコピーまで。

個別のファイルはプレビューで、ファイルのまとまりは保存したRedact Agentで処理します。どちらも同じシナリオ、カテゴリ、一覧を使います。

1

プレビュー付きで黒塗りを始める

書類一覧でファイルを選び、**アクション**、**エージェントとワークフロー**、**Redact** を開いて **プレビューで編集** を選びます。第三者への公開には、**外部共有** のシナリオが適しています。

2

一覧を管理する

マスキングしない（ホワイトリスト） には、所属する役所の名称など、見えたままにする名前を入力します。
追加でマスキング（ブラックリスト） には、ファイル番号やプロジェクト名など、お客様独自の用語を追加します。

3

確認して適用する

プレビューでエリアをクリックするか、四角をドラッグしてから、**削除を適用** を押します。コピーは選んだWorkspaceに入るか、お使いの端末にダウンロードされます。

4

黒くせず、読める形にする

出力 で、Ultra AIモデルを使って仮名化を選びます。氏名と識別番号は、一貫した架空の値に置き換えられ、対応表がダイアログに表示されます。

5

エージェントでまとめて処理する

Document AI、**Redact Agent** で、シナリオ、一覧、保存先のWorkspaceを指定してエージェントを保存します。多数のPDFには、**アクション**、**エージェントとワークフロー**、**Redact** と **Redact Agent** で**自動実行** を選びます。処理はサーバー側で行われ、プレビューは表示されません。

現場からのヒント

写真、印鑑、署名は四角で囲む プレビューでは、パスポートの写真、印鑑、署名があるページを、注意深く確認してください。そのような箇所をマウスで四角く囲むと、印を付けたテキストと同じように、コピーから削除されます。

04・事例

ある郡の行政事務所。 ファイルの閲覧請求。



ある郡の行政事務所に、建設プロジェクトのファイルの閲覧請求が届きました。ファイルには、専門家の意見書、やり取りの文書、近隣住民がスキャンして提出した異議が含まれています。記録担当者は、ファイルを公開しなければなりません、近隣住民の氏名、住所、電話番号は読めないようにする必要があります。

導入前

- ファイル全体を印刷し、ページごとに読みます。
- 近隣住民の氏名と住所を、マーカーペンで塗りつぶします。
- 下のテキストが読めなくなるよう、ページを再びスキャンします。
- 完成したコピーは、保護のない電子メールの添付として請求者に送られます。

PAPEROFFICE導入後

- スキャンされた異議を含め、ファイルはPDFとしてWorkspaceに保存されています。
- 外部共有 のシナリオで、Redact Agentが氏名、住所、電話番号に印を付けます。
- 記録担当者はプレビューを確認し、署名の上に四角をドラッグします。
- コピーはパスワード付きの安全な配信で送られ、原本はファイルに残ります。

説明のための架空の例です。どの情報を黒塗りしなければならないか、また黒塗りがお客様の目的に十分かどうかは、ご自身で、または法務やデータ保護の専門家と一緒に確認してください。

05・チェックリスト

ファイルを公開するための 十の確認項目。

これらの項目を、担当部署とデータ保護の担当者と一緒に確認してください。それぞれ「はい」か「いいえ」で答えられ、どこを改善する必要があるかが分かります。

- | | |
|---|---|
| ☐ 場面ごとに、どのシナリオが適用されるかが定められている：請求、共有、裁判、公表。 | ☐ 公開の前に、影響を受ける氏名を、スキャンを含むすべてのWorkspaceで検索している。 |
| ☐ 見えたままにすべき氏名が、エージェントのホワイトリストに入っている。 | ☐ ファイル番号などのお客様独自の用語が、常に黒塗りする用語の一覧に入っている。 |
| ☐ 公開の前に、すべての個別ファイルをプレビューで確認している。 | ☐ 写真、印鑑、署名があるページは、プレビューで別に確認している。 |
| ☐ 公開するのは、接尾辞 <code>_redacted</code> が付いたコピーだけである。 | ☐ 整理済みのコピーは、独自のグループ権限を持つ別のWorkspaceに保存されている。 |
| ☐ まとめて処理する場合、場面ごとに、Ultra AIモデルを使う保存済みのRedact Agentがある。 | ☐ コピーは、開かれた添付ファイルではなく、パスワード付きの安全な配信で送られる。 |

06・よくある質問

記録担当者が 最初に尋ねること。

黒塗りされたテキストは本当に消えていますか？

はい。四角の下テキストはPDFから削除され、そのあとPaperOfficeが、その下に何か残っていないかを確認します。残っていれば、コピーは黒塗り済みのページ画像から作り直されます。メタデータ、添付ファイル、フォームのフィールド、リンクは消去されます。

原本は変更されますか？

いいえ。コピーは、名前に接尾辞 `_redacted` が付いた新しい書類として、選んだWorkspaceに保存されるか、ダウンロードされます。原本は元の場所に変更されずに残ります。

仮名化とはどういう意味ですか？

黒い四角ではなく、PaperOfficeが一貫した架空の値を挿入するため、書類は読める状態のままです。これはUltra AIモデルで機能し、対応表はダイアログに表示され、PDFには表示されません。健康データとアクセス用の認証情報は黒塗りのままです。

スキャンされたページはどうなりますか？

テキスト認識がスキャンを読み取り、AIはデジタルのPDFと同じカテゴリに印を付けます。黒塗りを適用すると、画像の領域が塗りつぶされ、PDFが作り直されます。

Redact Agentはどのデータに印を付けますか？

16のカテゴリから選べます。氏名、住所、電話番号、メールアドレス、銀行情報、税務番号と識別番号、生年月日、健康データなどです。シナリオによって、あらかじめ選ばれています。署名や写真は、プレビューで四角く囲んでください。

黒塗りを自社のシステムに組み込みますか？

はい。REST API経由で、`POST /documents/redact-agent-run` が保存済みのRedact Agentを開始します。MCPでは、`po_documents_redact_agent_run` ツールが同じことを行います。結果は、アプリの場合と同じ整理済みのコピーです。

07・始め方

次のファイルを、プレビュー付きで黒塗りする。

app.paperoffice.ai でアカウントを作成し、ファイルをアップロードして、

アクション › エージェントとワークフロー › Redact から プレビューで編集 を使って黒塗りします。料金は従量課金で、詳細は料金ページにあります。

場面ごとにシナリオを定義する

請求、共有、公表にそれぞれのシナリオを適用し、どの氏名を見えたままにするかを、データ保護の担当者と合意してください。

エージェントを保存する

Document AI › Redact Agent で、場面ごとに一つずつRedact Agentを、シナリオ、一覧、保存先のWorkspaceとともに保存してください。

テストから始める

スキャンを含むファイルを黒塗りし、その後コピーで、四角の下のテキストを選択してコピーできるか試してください。

関連データシート

AI-OCR

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-ocr-ja.pdf

スマート検索

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-smart-search-ja.pdf

Workspaces

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-workspaces-ja.pdf

安全なメール配信

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-audit-safe-email-delivery-ja.pdf

このテーマの関連情報

個人データの黒塗り

paperoffice.ai/ja/ai-pii-redaction-bunsho-tokumei-ka-to-deta-tokumei-ka



このテーマの関連情報

paperoffice.ai/ja/ai-pii-redaction-bunsho-tokumei-ka-to-deta-tokumei-ka

料金

paperoffice.ai/en/pricing

お問い合わせ

paperoffice.ai/ja/otoiawase